

## 教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



11月6日（木）新潟商業高校の皆さんとの初コラボ



新潟市立関屋小学校 学校だより

# しおない

令和七年十一月二十七日

第374号

## 故きを温ねて

校長 川又 健司

いよいよ厳しい冬の到来を思わせる日が多くなり、感染症やかぜ症状でお休みする人も多くなってきました。今年も残すところ一か月ですが、健康に気を付け、全員でしっかりと一年の締め括りをしていきたいと思っています。

さて、来週から十二月ですが、関屋小学校の十二月は創立記念の月です。一日（月）の創立記念全校朝会では、関屋映像研究会の石橋正夫先生から、貴重な映像資料を基に昔の関屋地区、関屋小学校のお話をお聞きします。今年も学校の歴史をふり返りながら、歩んできた人々に思いを馳せたいと思っています。

学校の歴史と言えば、夏休みの終わりに、新潟青陵大学のI先生から、「関屋小学校に残っている資料を見せてほしい」という連絡がありました。実はI先生は私が教頭時代に仕えた校長先生なのですが、現在もまだ大学の特任教授として頑張っておられます。

希望された資料というのが、「新潟関屋小学校」についての資料でした。児守（子守）学校というのは、

自身の幼い弟妹や他家の乳幼児の子守のため学校に通うことが

できない子どもたちのために作られた学校  
(Wikipediaより)

のことです。説明には、「1870年代から1880年代にかけて、全国に約320校あった」とあります。この児守学校の取組は、後の保育所や夜間学校へとつながっていきます。

学びたくても学べない子供たちのために作られた、希少な児守学校。それが、この関屋小学校に併設されていた時期があったのです。学校に残された写真を見ると、赤ちゃんを背負ったままの子供たちがたくさん写っています。きっと、自分から「学びたい」と願い、家族などに頼んで、忙しい中を集ってきた子供たちだったことと思います。

校歴にその存在があることは知っていますが、あまり意識していなかった私ですが、I先生とともに資料を見ながら、改めて当時の状況について考えさせられました。

時代が変わり、学校を取り巻く環境も様々な変化を見せましたが、「学びたい」と願い集う子供たちの思いは、今の時代にも受け継がれているように思います。少しでもその気持ちに込められるよう、努力していかなければと思っています。

## 県立新潟商業高校主催「プログラミング・ドローン教室」



11月6日（木）、新潟商業高校情報処理科の皆さんが来校し、6年生に「プログラミング・ドローン教室」を開いてくれました。プログラミングの仕方を一人一人教えてもらうことで、全員が無事にドローンを飛ばすことができました。

初めての高校生との交流授業、どの生徒さんも教え方がとても優しく、6年生にとって、とても楽しい体験となりました。

## 3年社会科「リトルファイアースクール」



11月13日（木）、社会科の学習で、中央消防署の方から消防の仕事について教えていただきました。その後、煙体験や消火器体験をしました。煙体験では、姿勢を低くして、口をハンカチで押さえながら、煙で充満した部屋へ入って行きました。水の消火器体験では、コーンを的にしました。また、消防士の服を一人一人が着せていただきました。とても楽しい体験となりました。



## 【4年 落ち葉掃き、頑張っています】

総合の学習で、落ち葉掃きに挑戦しました。この日は、グラウンドと水道局の間の道路の落ち葉を集めました。たくさんの落ち葉を見て、子供たちはびっくりしていました。



## 【12月の予定】

- 1（月） 創立記念全校朝会  
個別懇談（～3日）
- 5（金） 5時間授業  
（職員研修）
- 10（水） 市小研
- 18（木） 関小フェスティバル
- 23（火） 給食最終日
- 24（水） 冬季休業前最終日  
3時間授業
- 25（木） 冬季休業  
（～1月7日まで）





# ひびきの集い

R7.11.1

「ひびきの集い」主任 教諭 植田 奈々加

暑い暑い7月、10名の実行委員とともに「ひびきの集い」に向けて活動が始まりました。夏休みには職員で研修を行い、9月からは衣装ボランティアの皆さんの協力を得て、本番に向けて学校全体で取り組んでいました。今年は、一人一人が自分の役割を考えながら、それぞれの場所で活躍できたのではないかと思います。「愛をありがとう」の歌声は、今でも忘れられない宝物です。

実行委員長 6年 I・K

実行委員長を務めることはすごく不安でしたが、大変でも実行委員と協力して乗り越えることができました。練習期間では、休み時間になると学校のいろいろな所から練習の声や音が聞こえてきて、全校のみなさんの「『ひびきの集い』を成功させるぞ!」という気持ちがよく伝わってきました。キャストのみなさんの演技もびっくりするほど成長しました。本番は、大成功でした。皆さんの協力がなければこの成功はなかったと思います。



1年 M・I

1年生は、はじめての「ひびきのつどい」でした。きんちょうしたけれど、ことばやダンスをがんばっておぼえていうことができ、うれしかったです。いえにかえったら、おとうさんとおかあさんに「すごかったよ!」とほめてもらえて、もっともっとうれしくなりました。また2年生でもいっしょうけんめいにがんばりたいです。先生たち、おしえてくれてありがとう。

2年 O・K

おどりや歌が、さいしょはおぼえられなかったけど、れんしゅうしたら、できるようになってきました。本番は、せりふを大きい声で言えたので、うれしかったです。ほかの学年の人も、大きな声でせりふを言っていて、すごかったです。とくに、1年生が、はじめてなのに、大きな声でびっくりしました。来年は、もう少し長いせりふにちょうせんしたいです。

※写真はリハーサル時のものを含みます。



### 3年 H・K

私がひびきの集いでがんばったことは、セリフとダンスと歌の3つです。自分のセリフを大きな声ではっきりと言うことができました。そうじをする演技があったり、ツリーチャイムのあとには、ストップモーションでキャストの迷惑にならないようにがんばってそうじの動きを止めたりしました。ダンスも笑顔で楽しくおどることができました。歌は、振り付けを間違えずに歌うことができました。来年は、音楽隊で活躍したいです。



### 5年 U・M

私は今年、高学年として音楽隊実行委員として「ひびきの集い」に挑みました。本番までの時間の中で綺麗な音を作り上げたいと思い、みんなを引っ張ろうと頑張りました。初めは、揃わなかった音がだんだん一つにまとまっていく感じがして、私自身も練習が楽しくなってきました。本番では、音楽隊全員の心が一つになって音色を奏でているように聞こえました。本当に最高の「ひびきの集い」でした。

### 4年 Y・S

私は、小道具隊になりました。小道具隊の主な役割は、夢の配達人の帽子作りです。帽子のつばのザクザクしたところを切り揃えたり、帽子の隙間をテープでふさいだりして綺麗に仕上げました。上手に帽子が作れて、みんなに褒めてもらったことがとても嬉しかったです。「ひびきの集い」本番では台詞の割り当てがありました。リハーサルよりも大きな声が出せたので良かったです。

### 6年 S・M

私は今年の「ひびきの集い」で、初めてキャストになりました。ひびきタイムの時間はもちろん、休み時間も同じ役の5年生と一緒に、歌やセリフの練習をするようになりました。練習を重ね、アドバイスをし合うことで、みんなどんどんレベルが上がっていききました。本番では自信をもって演じることができました。いろんな学年の人と関わる経験ができて、うれしかったです。